

森の文化のおおた

2012 文化の森フォーラム

～文化プレーヤー! 集まろう・楽しもう・実行しよう～

4月28日(土)開催

2011 文化の森フォーラム

大田文化の森 運営協議会



グループディスカッションで盛り上がったフォーラム

今年の文化の森フォーラムは「文化プレーヤー！集まろう・楽しもう・実行しよう」の副題のもと、4月28日(土)午後1時30分から5階多目的室で開催。文化プレーヤー全員参加型の公開討論会を目指します。開催にあたって、文化活動を支える良き仲間を募っていますので(別項)この機会にご登録のうえ、参加くださる新・文化プレーヤーも大歓迎です。

この文化の森フォーラムは毎年1回、文化プレーヤーの総会的位置付けで開かれ、年間約80企画を展開する文化活動の支援をどう支えてきたか。その喜びと楽しさ、苦労などを語り合い、これから先、また活躍の場をみんなで広げていこうという討論会です。

2001年に大田文化の森が開設されて以来、今年はさらなる飛躍が求められる11年目になりますが、振り返って10年の節目となった昨年は多くの被災者を出した東日本大震災に見舞われて、

文化の森フォーラムの開催も順延されたことを思い出します。

今回の副題～文化プレーヤー！集まろう・楽しもう・実行しよう～は、文字通り「どうやって仲間をふやしたらいいのか」「活動をどうやって楽しみましょうか」「実行するにはこんな心得があればいい」といった、忌憚のないご意見をたくさん聞かせて戴ければ嬉しい限りです。皆様のお越しを心からお待ちしております。



交流会では和やかな談笑も

巻頭特集

2012 文化の森フォーラム ～文化プレーヤー! 集まろう・楽しもう・実行しよう～

平成24年4月28日開催の2012文化の森フォーラムのご案内です。テーマは「集まろう・楽しもう・実行しよう！」でたくさんの仲間が集まります。是非ご参加ください。

運協だより

大田文化の森運営協議会



運営協議会新会長に濱田智委員が選任されました。濱田新会長より、ご挨拶です。

読み応えのあるコラムが自慢

百歳バンザイ!

年輪を重ねた今を語る

1912年は明治最終年でもあり、大正元年でもある。100歳を迎えた方にとってはまさに記念すべき長寿の年、お話を伺うとそこには年輪を重ねた素敵な言葉が生きていました。

在仕外国人の 大田区大好き!

大田区在住の外国人に大田区のことを聞きました。今回はフィリピンの大学を卒業して、日本語学校に通うため来日して25年、エスカレズ・マリッサさんです。

遊び心で学ぶ、 その仕掛け人たち

一生懸命の中にも、遊び心で学ぶ。そんなゆとりを持って生きたい、とは誰でも思うことでしょう。その仕掛け人3人をご紹介します。

地域ネットワーク

大田区の様々な町会や行事を紹介するシリーズ。今回は「洗足流れ」と「大蒲田祭」についてご紹介いたします。

街角トピックス

大田区の中で行われるちょっとした小さなイベントをご紹介します。

文化プレーヤー（ボランティア）募集

大田文化の森運営協議会では日ごろ多彩な催しを行っていますが、その実施にあたって企画・立案、サポート、さらに講師・出演者としての登録や写真・ビデオ撮影など文化活動を支える良き仲間を募っています。この文化プレーヤー（ボランティア）のプレーヤーという言葉には「楽しむ、表現する、演じる」という意味が込められていますが、ご希望される方は文化の森4階運営協議会事務局までお問い合わせください。

- 受付時間：月～金曜 9:00～18:00
- 電話：03-3772-0770 FAX：03-3772-0704
- 住所：〒143-0024 大田区中央2-10-1

座り心地は
いかがですか

そこにベンチがあるからつい座る、日ごろお世話になっている善意の脇役。大田区内で見かけるベンチ事情を、歩いて探ってみました。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報
文化の森 旬でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」（300字以内）を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名（ペンネームでも結構）町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.43Web版
2012年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

運協だより

大田文化の森運営協議会



運営協議会、新会長に濱田智委員

大田文化の森運営協議会では4月1日付で役員人事を発表しました。新会長に選任されたのは濱田智委員で、2012新年度から始動いたします。

濱田智会長の話 私たち運営協議会は皆様のお力添えで昨秋10周年を終えましたが、11年目を迎えるにあたりこれから区民の皆様のための文化集団をどのように進めてゆくべきか、区民の皆様のご意見を考え合わせながら皆様とともに次の若い世代に引き継いでいきたいと思っています。「みんなで作る文化の森・文化の創造」を皆様とともに、運営協議会委員と文化プレーヤー全員で頑張りますので、重ねてご協力のほどお願い申し上げます。



<運協の24年度主なイベント日程>

- ◇ 大田文化の森夏祭り：7月27日（金）、28日（土）全館
- ◇ 大田文化の森収穫祭：11月11日（日）全館
- ◇ 大田文化の森フェスタ：来春3月予定

百歳バンザイ!

年輪を重ねた今を語る

1912年は明治最終年でもあり、大正元年でもある。100歳を迎えた方にとってはまさに記念すべき長寿の年、お話を伺うとそこには年輪を重ねた素敵な言葉が生きていました。

向上心、関心、自制心のココロをぜひ

平林勇次郎さん (山王在住)

「年を重ねれば誰にでも老いは来ますが、やれやれ、と思ったら駄目ですね」。長寿の秘訣を伺ったところ、首をかしげながら答えてくれました。では、平林さんの場合はいつ老いを感じたのでしょうか。「80歳頃でしょうか。長年都庁に勤め、定年後は町会長や新井宿長生会の会長などおだてられて(笑い) やってきましたが、組織でもなんでも身の引きどきはありますよ。次の世代へ託す気持ちが起きたとき、いやそう思うことが大切ではないでしょうか」。奥さんが亡くなって23回忌を迎えた今は、気が向いた時に好きな絵を描いたり、散歩や庭いじりを楽しんだり。「さすがにスケッチブックを持って遠出したりは出来ないので、写真を観て絵にしたり、趣味の川釣りも無理なので熱帯魚屋さんで買ってきた魚を飼育して楽しんでいます」。隣接して住まわれている息子さん夫婦が身の回りの世話をし、ご本人も「良くしてもらっていますよ」と安らぐ環境の中での生活を送りながらも、周囲に甘えないように自分で出来る事は自分で、を心掛けているそうです。常々、自覚していることは「向上心と物ごとに関心を持つこと、それから自制心が必要だね」という。別れぎわに「人生、楽しく生きなくちゃ駄目だよ!」と、こちらも励まされるような言葉を投げかけられ、元気を頂いた気がいたしました。



安らぐ環境で寛ぐ平林勇次郎さん

希望を持って生きていける世の中になって!

八木本菊代さん (池上在住)

昭和の初期から長い間小学校の教諭として勤務し、ご主人とともに台湾や中国へも渡って苦労を重ねてこられた。「小学校の教諭だった最初の夫、そして再婚した夫も亡くなっていますが、子供たち4人もそれぞれ独立して今は自分の思うままに生活しているので、毎日が楽しいですよ」。百歳を目前にして、独りマンション暮らしを始めたのもそのひとつ。近所に住む長女が菊代さんの面倒を見ているとはいえ、他の子どもや親族も大変心配したが、菊代さんの希望をかなえてあげたいとのことでお医者さんの

巻頭特集

2012 文化の森フォーラム
~文化プレーヤー!
集まろう・楽しもう・実行しよう~

平成24年4月28日開催の2012文化の森フォーラムのご案内です。テーマは「集まろう・楽しもう・実行しよう!」でたくさんの仲間が集まります。是非ご参加ください。

大田文化の森運営協議会
運協だより 

運営協議会新会長に濱田智委員が選任されました。濱田新会長より、ご挨拶です。

読み応えのあるコラムが自慢

百歳バンザイ!

年輪を重ねた今を語る

1912年は明治最終年でもあり、大正元年でもある。100歳を迎えた方にとってはまさに記念すべき長寿の年、お話を伺うとそこには年輪を重ねた素敵な言葉が生きていました。

在仕外国人の
大田区大好き!

大田区在住の外国人に大田区のことを聞きました。今回はフィリピンの大学を卒業して、日本語学校に通うため来日して25年、エスカレズ・マリッサさんです。

遊び心で学ぶ、 その仕掛け人たち

一生命の中でも、遊び心で学ぶ。そんなゆとりを持って生きたい、とは誰でも思うことでしょう。その仕掛け人3人をご紹介します。

地域ネットワーク 

大田区の様々な町会や行事を紹介するシリーズ。今回は「洗足流れ」と「大浦田祭」についてご紹介いたします。

街角 トピックス 

大田区の中で行われるちょっとした小さなイベントをご紹介します。

許可も取り、昨年9月から自立した生活を送っている。

「室内体操と晴れた日の短い散歩、そして好きな裁縫で小物を作って若い方々の心の慰めになるよう贈って差し上げるのが趣味で、テレビは報道番組とかドキュメンタリー番組などしか見ませんねえ（笑い）」。「新聞も眼鏡をかけずに読んでいて「散歩の途中、川べりや道端の雑草をみて、元気に生きようとする自然の素晴らしさや苔むした古樹を見て時代の移り変わりを感じて感動するんです」という。

いつしか野良猫2匹、なつについて寄ってくるのも癒しになっているとか。「日ごろから思っていることですが、私は格差社会が嫌いです。十分ではなくてもその人なりの希望を持って生きていける世の中になって欲しい。長寿を与えて戴いたお陰で、急激に進歩する文化・世界遺産などいろいろ知ることが出来て楽しい毎日ですよ」。戦中戦後の激動の時代を生き抜き、ボランティア活動にも関わってきた人らしい穏やかさが感じられた。



独りマンションで喜らす八木本菊代さん

座り心地は いかがですか

そこにベンチがあるからつい座る、日ごろお世話になっている善意の脇役。大田区内で見かけるベンチ事情を、歩いて探ってみました。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」（300字以内）を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名（ペンネームでも結構）町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.43Web版
2012年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design : Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail: info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

在住外国人の

大田区大好き!

外国人に、思いやりがありますね エスカレス マリッサさん（蒲田在住）

フィリピンの大学を卒業して、日本語学校に通うため来日したのがちょうど25年前。帰国してお医者さんになるつもりでしたが、日本人男性と結婚。日本の家庭裁判所で英語の通訳を頼まれたり、外国人の派遣会社でも通訳の仕事をしてきました。いまは大田区在住の外国人の人たち約1万8千人を対象にした、多文化共生推進センターの相談員もさせてもらっていますが、大田区って外国人に対する思いやりがあります。大田区で一番多いのは中国人、二番目は韓国人、そして三番目はフィリピン人の順。相談員のいない区もあって、何度か出張したこともあるんですよ。日本に住んでも困っている外国人は沢山います。言葉が通じずに生活する上での手続きが出来なかったり、私自身もフィリピン人という偏見だけで借家を断られたことも体験しましたが、大田区に住んで20年。いまの大家のおばさんは英語好きでよく面倒をみてくださり、日本のお友達も大田区の国際交流会を通じて沢山います。今年、成人式を迎えた娘はフィリピンの大学から一時戻ってきますが、卒業したら日本で看護師になりたいと言っています。普段あまりホームシックにならないのも、日本に暮らす外国人の悩みを聞いたり、架け橋といったお役に立つことに追われているせいでしょうか。（談）



出版記念でスピーチするマリッサさん

遊び心で学ぶ、 その仕掛け人たち

一生懸命の中にも、遊び心で学ぶ。そんなゆとりを持って生きたい、とは誰でも思うことでしょう。ここにご登場いただく3人はその仕掛け人たち。これから運協のイベントにも携わる講師なので、ご期待ください。

街の風景／テレビの風景

大学講師 井沼一（矢口在住）

テレビドラマをみていると、僕が育った街周辺、たとえば多摩川の緑道や丸子橋、旧田園調布駅の木造駅舎や多摩川線の沿道（下丸子一鶴の木間）、矢口渡商店街が登場することがある。そこでは、情緒溢れる下町の濃密な人間関係の中で暮らす悲喜交々の人生が描かれたり、スーツを着た上場企業に勤める大卒の若者達が、恋をして、街を歩いたり走ったり、車に乗って（もちろん品川ナンバー！）、青春時代を楽しんだり悲しんだりして生きている。

大田区に住んでいる僕らにとっては、日常みる街の風景が、テレビ画面の中に立ち上がることは珍しいことではないが、これを地方で視聴している人にとっては、その生活ぶりはひとつの東京の理想系として受け取られているのだ。

東京のなかでも城南地域に位置する大田区は、ロケ地として多用され、アメリカでいえば中西部のシカゴに相当する。標準的な東京像は、城南地域によって描かれているのである。シカゴ出身のW・ディズニーは、標準的なアメリカ像を映像作品やディズニーランドの中でシカゴをモデルとして描いていたことは有名だ。

画面の中に仕掛けられた理想像を、読み解き、街の風景／テレビの風景の本当の意味を探っていくことは、テレビのほんとうの姿を知ることにつながる。

大田文化の森にて8月25日から「テレビの見方がオモシロクなる方法！！ーディズニーを題材にー」を予定しております。興味のある方、是非ご参加ください。

チョークアートを楽しんで！

講師 湯浅真輝（久が原在住）

チョークアートはオーストラリア生まれの、カフェやレストランの黒板メニューボードに絵や文字を描く新しいアートです。チョークと言ってもふつうのスクールチョークではなく、クレヨンに近い感触のパステルを使います。黒板に直接チョークを載せて指でクルクルと伸ばしてつくる作品は、筆やペンで描くよりダイレクトに感覚が伝わってきます。チョークアートには独自のルールがあり、リアルよりももっと「本物らしい」表現、美味しそうな描き方などアイディアが満載で、作る楽しさ、ワクワクを与えてくれます。私は以前、ゲーム会社でパソコンを使ったデザインの仕事をしていたのですが、チョークアートを偶然見掛けて「指でこんなに活き活きとした表現ができるなんて！」と驚きました。

そしてどんどん夢中なり、退職してオーストラリアへ短期留学してチョークアートの第一人者、モニック・キャノンからティーチャー資格を頂き、現在はモニックチョークアート協会の講師としてカルチャーセンター等で教えたり、オーダーを頂いたりしています。今後はチョークアートの知名度を上げて、沢山の方とこの楽しさを共有し



巻頭特集

2012 文化の森フォーラム
～文化プレーヤー！
集まろう・楽しもう・実行しよう～

平成24年4月28日開催の2012文化の森フォーラムのご案内です。テーマは「集まろう・楽しもう・実行しよう！」でたくさんの仲間が集まります。是非ご参加ください。

大田文化の森運営協議会
運協だより 

運営協議会新会長に濱田智委員が選任されました。濱田新会長より、ご挨拶です。

読み応えのあるコラムが自慢

百歳バンザイ!

年輪を重ねた今を語る

1912年は明治最終年でもあり、大正元年でもある。100歳を迎えた方にとってはまさに記念すべき長寿の年、お話を伺うところには年輪を重ねた素敵な言葉が生きていました。

在任外国人の
大田区大好き!

大田区在住の外国人に大田区のことを聞きました。今回はフィリピンの大学を卒業して、日本語学校に通うため来日して25年、エスカレズ・マリッサさんです。

遊び心で学ぶ、 その仕掛け人たち

一生懸命の中にも、遊び心で学ぶ。そんなゆとりを持って生きたい、とは誰でも思うことでしょう。その仕掛け人3人をご紹介します。

地域ネットワーク 

大田区の様々な町会や行事を紹介するシリーズ。今回は「洗足流れ」と「大浦田祭」についてご紹介いたします。

街角 トピックス 

大田区の中で行われるちょっとした小さなイベントをご紹介します。

ていきたいと考えています。また大田区のお店とのコラボレーションもしていきたいです。

「チョークアートってなんか難しそうね」と思われた方も安心してください、下書き付きでぬり絵のように作品を作れます。肩の力を抜いて、カジュアルに楽しんで頂けるのもチョークアートの魅力の一つです。ぜひ一緒にチョークアートを始めてみませんか？ 9月4日から講座を始めます。

たかがけん玉、されどけん玉

小学校教員 鈴木康之（中央在住）

私は、子ども達と毎日けん玉を楽しんでいます。休み時間になると教室で子ども達は、マイけん玉を持って、いろいろな技に挑戦しています。けん玉は、素朴で単純な遊びです。しかし、けん玉の技は、とめけん、ひこうき、世界一周、灯台、うぐいす、もしかめなど、3千種を超えるとも言われています。

たかが子どもの遊びであると思っていたけん玉が、今は子ども達よりも、むしろ私の方が、すっぴんのめり込んでしまいました。

けん玉は、競技として競う大会や試合もありますが、まずは自分で決めた課題を自分に合ったペースでコツコツと、くり返し練習することです。くり返し練習していると、目指していた技が、不思議と出来るようになるものです。少し前までは、「とてもムリだ！」と思っていた難しい技が、成功すると心の底から嬉しさがこみ上げ、自分に対して「よくやった！」と自然にこぶしが堅くなります。コツコツ努力すれば必ず報われるという達成感や自信など、けん玉から多くのことを学びます。自分をほめ、肯定する気持ちも湧いてきます。私は、子ども達からいつも元氣と勇気をもらい、その上達ぶりを見るのが励みになっています。

私は、けん玉のすばらしさを子ども達に伝え、一緒に楽しむことを大切にしながら、学校や児童館で日本の文化伝承遊びであるけん玉やお手玉を教えています。8月3日にはけん玉、7日にはお手玉の講習会を文化の森でも開きます。奮ってご参加ください。



座り心地は いかがですか

そこにベンチがあるからつい座る、日ごろお世話になっている善意の脇役。大田区内で見かけるベンチ事情を、歩いて探ってみました。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森にもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」（300字以内）を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名（ペンネームでも結構）町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.43Web版
2012年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

森の文化のおおた

地域ネットワーク

「洗足流れ」の昔と今

東雪自治会会長 永久保孝治

「洗足流れ」はその名の通り洗足池に源を発し、上池上台と東雪谷との間を流れ呑川の道々橋近くに流れ込む。約2*ほどの小川で、現在は下流500*は暗渠になっています。昭和の初期は洗足池や小池から流れ出る水で子どもたちが魚取りの出来る川であり、下流では田圃に引き込まれて稲作に利用されていました。戦後、付近の開発が進み住宅が増えて生活排水が流れ込み、魚などの棲めない「ブタ川」と呼ばれたこともあったのです。



東雪谷付近の、洗足流れ

昭和50年代に下水道が完備され洗足池の水も綺麗になってきた頃、大田区で「洗足流れ」の護岸や川底の工事、さらに桜やツツジを植樹し、上流の方から遊歩道が出来ました。しかし自然の流れの再現ではなくコンクリートで周りを固めた、見るからに人工的な水辺だったので、付近の住民からもっと自然に近いせせらぎをとる要望があり、湧き水を利用したり流れによみや浅瀬を作って鯉やくちぼそなどの小魚やザリガニの生息する川へと変貌してゆきました。現在では、地域の青少年対策委員会（青少対）が毎年8月中旬に企画する、洗足池での「ほたるの夕べ」鑑賞後、一部のほたるをこの川に放つのでその姿を見ることが出来ます。いまの「洗足流れ」はいつでも地域住民の憩いの場所として、私たちの心を和ませてくれるせせらぎとなっています。この川の環境を維持していけるのは、付近の住民の方が川底の清掃やゴミ拾いなどのボランティア活動をなさっているからこそ。お礼の言葉として書かせて頂きます。

更なる発展、大蒲田祭まちづくり

蒲田東地区まちづくり協議会会長 藤田 静男

昔の蒲田は、松竹撮影所を中心に映画の都として一世を風びした。その名残りとして毎朝、JR蒲田駅には「蒲田行進曲」が流れラッシュアワーの人々の心の安らぎとなっている。商店街は戦後焼土の中から立ち上がり、昭和32年にはアーケードが完成し東西商店街の一斉定休日の実施、共同建築の完成、駅ビル完成、大通りの整備など、一連の大々的なまちづくりが進み大いに賑わいを呈した。その賑わいの一環として始まったのが45年から駅前大通りを開放して近隣5町会の協力のもと開催し



大勢が繰り出す大蒲田祭

巻頭特集

2012 文化の森フォーラム
~文化プレーヤー!
集まろう・楽しもう・実行しよう~

平成24年4月28日開催の2012文化の森フォーラムのご案内です。テーマは「集まろう・楽しもう・実行しよう！」でたくさんの仲間が集まります。是非ご参加ください。

大田文化の森運営協議会
運協だより

運営協議会新会長に濱田智委員が選任されました。濱田新会長より、ご挨拶です。

読み応えのあるコラムが自慢

百歳バンザイ!

1912年は明治最終年でもあり、大正元年でもある。100歳を迎えた方にとってはまさに記念すべき長寿の年、お話を伺うところには年輪を重ねた素敵な言葉が生きていました。

在任外国人の 大田区大好き!

大田区在住の外国人に大田区のことを聞きました。今回はフィリピンの大学を卒業して、日本語学校に通うため来日して25年、エスカレズ・マリッサさんです。

遊び心で学ぶ、 その仕掛け人たち

一生懸命の中にも、遊び心で学ぶ。そんなゆとりを持って生きたい、とは誰でも思うことでしょう。その仕掛け人3人をご紹介します。

地域ネットワーク

大田区の様々な町会や行事を紹介するシリーズ。今回は「洗足流れ」と「大蒲田祭」についてご紹介いたします。

街角トピックス

大田区の中で行われるちょっとした小さなイベントをご紹介します。

た「子供まつり」だった。毎年8月、祭礼の日曜日は子供神輿や山車を中心に大人神輿も加わってにぎやかなこと。

さらに平成10年大田区役所の蒲田移転を機に蒲田東地区自治会連合会の全面的協力を得て参加町会も格段に多くなり、蒲田の息吹きを発信する「大連合蒲田祭」と名称変更、くすの木連やサンバ等なども取り入れ、にぎにぎしく挙行された。三年程前から更なる発展を期して「大蒲田祭」と改め、行事も中国雑技団、フラダンス、太鼓演奏など多彩となり、更に区役所の水まき行事も加わり区長、連合会長他各町会長、商店街を併せ地域あげての一大イベントとなっている。昨年は東日本大震災支援のため「みんなで築こう地域の絆、とどけ被災地へ蒲田の心」のキャッチフレーズの下、被災地商品の販売を婦人部総出で行い盛大を極めた。これからの新しいまちづくりと併せて「安心・安全な賑わいのあるまち蒲田」を目指し、そのシンボルとして大蒲田祭の成長を楽しみにしている。

街角トピックス

泣き相撲で、健やかに

赤ちゃんの成長を祝い、力強く泣くことで健やかに育つことを祈願する「一心泣き相撲」。雪ヶ谷八幡神社では5月5日（こどもの日）、今年から初めてこの催しを行うことになり、参加者を募集しています。資格は首のすわった生後6カ月から2歳半までの赤ちゃんで、会場の土俵のうえでたくましく泣いて“赤ちゃんの卒業式”を祝うというもの。参加費1万5千円（祈祷料、記念品、すべて含む）参加人数150人。希望者はTEL0798-85-0800へどうぞ。四股名も考えて！ 最寄駅は東急池上線石川台から徒歩2分。

スポーツ好き、見る・するには

40年以上親しまれてきた旧大田体育館の跡地に、大田区総合体育館（東蒲田1-11-1）が完成。6月30日オープンで、区民のスポーツ利用を3月下旬から予約受付開始。メインアリーナは可動席を含め観客席が約4,000席あり、するスポーツだけでなく、みるスポーツも楽しめる。メインアリーナはバレーボールコート3面分かバスケットボールコート2面分、サブアリーナはバスケット1面分か柔剣道場2面分、体育室1、体育室2、会議室、弓道場など。詳細は大田区役所社会教育課施設活用担当、TEL5744-1448へ。最寄駅はJR京浜東北線、東急多摩川線・池上線蒲田駅東口徒歩15分。京浜急行線 京急蒲田駅徒歩7分、梅屋敷駅徒歩5分。

座り心地は いかがですか

そこにベンチがあるからつい座る、日ごろお世話になっている善意の脇役。大田区内で見かけるベンチ事情を、歩いて探ってみました。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森にもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」（300字以内）を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名（ペンネームでも結構）町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.43Web版
2012年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

森の文化のおおた

ベンチ・考

心地は座り心地は いかがですか

そこにベンチがあるからつい座る、日ごろお世話になっている善意の脇役。控えめに、でも人々にとってほっと安らぐ彼らの存在はなくてはならない場所ではないでしょうか。大田区内で見かけるベンチ事情を、歩いて探ってみました。

善意の脇役

安らぐ場所にも事情があって

ベンチについて、目にとまった記事がありましたね。昨年7月の大田区報に「メッセージベンチ募集」という話。なんでも大田区内10数箇所の公園に、ベンチを現物寄付していただく団体や個人を募る告示でしたが、ひとつ11万円から16万円までの4タイプに対して2月末現在10個を超す善意の申し立てがあったとか。大田区内の公園（面積1,000平方メートル以上のものをいう）は平成23年4月1日現在529あるとのことですが、公園以外でもバス会社の停留所や商店街などのベンチは、道路上の専用許可を区から取る必要があるというから個人の善意では勝手に設置できません。ベンチの大きさも昭和58年（1983）道路上では長さ3メートル、幅70センチまでという基準・規定がなされていたそうですが、その後「長いと寝そべてしまう困った人もいる」などの理由で1・8メートル、1・2メートルに縮まるところも出たり、さらにブース分けして“自分の居場所”を確保する工夫もなされるなど、時代の流れに左右されて作られたベンチもあるそうです。人々に安らぎを与えてくれる、もの言わぬベンチにもきくと聞いてほしい声があるかも知れません。

希望ヶ丘商店街（石川台）

商店街のベンチ、発祥の地？

20年ほど前、大田区内の商店街で最初にベンチを設置した。その後、各商店街からの視察も受けたそうですが、今でも約600個の商店街には木製のベンチがあちこちにある、お客さんになじまれています。



子母澤公園（中央）

ベンチが泣いている！ マナーを守ってね

修理中のベンチではありません。たむろする人たちの話し声やマナーが近所迷惑との苦情が出て、ただいま休命中。囲いが取れるのはいつのことでしょうか。



大森郵便局前（山王）

巻頭特集

2012 文化の森フォーラム
～文化プレーヤー！
集まろう・楽しもう・実行しよう～

平成24年4月28日開催の2012文化の森フォーラムのご案内です。テーマは「集まろう・楽しもう・実行しよう！」でたくさんの仲間が集まります。是非ご参加ください。

大田文化の森運営協議会
運協だより 

運営協議会新会長に濱田智委員が選任されました。濱田新会長より、ご挨拶です。

読み応えのあるコラムが自慢

百歳バンザイ!

年輪を重ねた今を語る

1912年は明治最終年でもあり、大正元年でもある。100歳を迎えた方にとってはまさに記念すべき長寿の年、お話を伺うとそこには年輪を重ねた素敵な言葉が生きていました。

在任外国人の
大田区大好き!

大田区在住の外国人に大田区のことを聞きました。今回はフィリピンの大学を卒業して、日本語学校に通うため来日して25年、エスカレズ・マリッサさんです。

遊び心で学ぶ、 その仕掛け人たち

一生懸命の中にも、遊び心で学ぶ。そんなゆとりを持って生きたい、とは誰でも思うことでしょう。その仕掛け人3人をご紹介します。

地域ネットワーク

大田区の様々な町会や行事を紹介するシリーズ。今回は「洗足流れ」と「大浦田祭」についてご紹介いたします。

街角トピックス

大田区の中で行われるちょっとした小さなイベントをご紹介します。

ブース分け、それでも寝そべる人が

建物に沿って、路上の片隅に長いベンチ。以前はブース分けもなく、ときどきホームレス風の人々が寝そべっている姿を見かけたせいか、今はご覧の通り。でも、それをものともせずまた懲りもせずやる人も。疲れるベンチの気持ちも察してください。



座り心地は いかがですか

そこにベンチがあるからつい座る、日ごろお世話になっている善意の脇役。大田区内で見かけるベンチ事情を、歩いて探ってみました。

池上本門寺通り商店街（池上）

粹でおしゃれな、緋毛氈ベンチ

2011年11月に設置。参詣する人々に休憩して戴くようにと地元商店会が20個つくってそれぞれの店前にくつろぎの居場所を。緋毛氈が印象的です。



東糀谷防災公園（東糀谷）

まさに防災時ベンチ、ふたを外せば火焚きも

ふだんは変哲もない2人掛けベンチが、上蓋をはずせば下は火焚き（カマド）に活用できる。5箇所にも備えてある、防災公園（昨年3月完成）ならではの優れもの。多目的？ベンチ、これからもあちこちに出来るといいですね。



文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」（300字以内）を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名（ペンネームでも結構）町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.43Web版
2012年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

おおた文化の森

文化の森 イベント情報 何でもあり

いろいろなことが始まる春。文化の森でも様々なイベントが開催されます。

※下記の情報は情報誌発行時のものです。最新にイベント情報は運営協議会のサイトで確認してください。

<http://www.ota-bunkanomori.jp/event.html>

楽しいイベントが一杯! ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

■森のこだま～誰でも参加できるコーラス～

24年度も引き続き声を出して元気になる大勢の仲間づくりをいたします。

□開催日時：毎月第4水曜（4月25日・5月23日・6月27日・7月25日・8月22日・9月26日）10:00～11:45 □会場：5F多目的室 □対象：どなたでも（未就学児の同伴可） □参加費：無料 □定員：200名

■昭和の知恵に学ぶ ～本当の豊かさとは～

昭和の暮らし博物館館長小泉和子さんの講演とDVD『昭和の事』を上映。ワークショップでは小さなお土産付きです。

□開催日時：6月2日（土）13:00～15:30 □会場：5F多目的室 □対象：小学生以上（保護者同伴） □参加費：800円 □定員：抽選で150名 □申込：5月21日（月）必着

■バンドネオンと魅惑のアルゼンチンタンゴ

バンドネオンがリードするタンゴの調べと本格的なアルゼンチンタンゴの踊りをお楽しみください。

□開催日時：6月10日（日）14:00～15:00 □会場：文化の森ホール □対象：小学生以上 □参加費：800円 □定員：抽選で240名 □申込：5月21日（月）必着

■初夏のコンサート ～オペラの旅～

お話を交えながら、楽しくオペラを中心とした名曲を紹介します。

□開催日時：6月24日（日）14:00～16:00 □会場：文化の森ホール □対象：小学生以上 □参加費：子ども500円 大人1000円 □定員：抽選で150名 □申込：6月4日（月）必着

■魅惑のピアノ名曲コレクション

ピアニスト津田真理が、わかりやすい解説やお話を交えながら、ピアノ音楽の魅力に迫ります。

□開催日時：7月22日（日）14:00～16:00 □会場：文化の森ホール □対象：小学生以上 □参加費：小学生500円 中学生以上1000円 □チケット販売：大田文化の森5/23～7/21アプリコ・区民プラザ5/24～7/21

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770/FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

体験してみよう! 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

■わいわいがやがや おりがみの森

巻頭特集

2012 文化の森フォーラム ～文化プレーヤー! 集まろう・楽しもう・実行しよう～

平成24年4月28日開催の2012文化の森フォーラムのご案内です。テーマは「集まろう。楽しもう・実行しよう!」でたくさんの仲間が集まります。是非ご参加ください。

運協だより

運営協議会新会長に濱田智委員が選任されました。濱田新会長より、ご挨拶です。

読み応えのあるコラムが自慢

百歳バンザイ!

1912年は明治最終年でもあり、大正元年でもある。100歳を迎えた方にとってはまさに記念すべき長寿の年、お話を伺うところには年輪を重ねた素敵な言葉が生きていました。

在任外国人の 大田区大好き!

大田区在住の外国人に大田区のことを聞きました。今回はフィリピンの大学を卒業して、日本語学校に通うため来日して25年、エスカレズ・マリッサさんです。

遊び心で学ぶ、 その仕掛け人たち

一生懸命の中にも、遊び心で学ぶ。そんなゆとりを持って生きたい、とは誰でも思うことでしょう。その仕掛け人3人をご紹介します。

地域ネットワーク

大田区の様々な町会や行事を紹介するシリーズ。今回は「洗足流れ」と「大浦田祭」についてご紹介いたします。

街角トピックス

大田区の中で行われるちょっとした小さなイベントをご紹介します。

日本の伝統文化である折り紙を折ることで、日本文化の良さを見直し、さらに指先を動かすことで脳の活性化を図ります。

□開催日時：毎月第2水曜（4月11日・5月9日・6月13日・7月11日・8月8日・9月12日） 10:00～11:45 □会場：4F第3・4集会室 □対象：小学生以上（未就学児の同伴可） □参加費：1回300円 □定員：当日先着45名

■「日本と中国・旅の途中」展

日本の47都道府県を巡った旅と、中国の旅の途中で出会った風景の「淡彩スケッチ」の一部30余点を展示いたします。

□会場：1F展示コーナー □開催日時：4月13日（金）～4月17日（火） 11:00～18:00

■楽しく歌える「シャンソン・コーラス教室」

初めての方でも楽しく歌える6回のレッスン。文化の森コーラス出演に向けて練習していきます。

□開催日時：5月9日、23日・6月13日、27日・7月4日、11日（各水）午前の組：10:30～12:00 午後の組：13:00～14:30 □会場：1F第2音楽スタジオ □対象：18歳以上 □参加費：6000円（全6回分） □定員：抽選で各18名 □申込：4月18日（水）必着

■相手の心をつかむ「話し方・聞き方」

話し方・聞き方のコツを学び、あなたの人生はもっと明るく豊かに。

□開催日時：5月12日、26日・6月9日、23日（各土） □会場：4F第4集会室 □対象：18歳以上 □参加費：3000円（全4回分） □定員：抽選で30名 □申込：4月25日（水）必着

■思い出を大切に残す スクラップブックング！

思い出の写真をきれいに装飾して保存するスクラップブックングを体験できる初心者向け全3回講座です。

□開催日時：5月12日・6月9日・7月14日（各土） 13:30～15:30 □会場：3F工芸室 □対象：小学生以上 □参加費：4500円（全3回分） □定員：抽選で20名 □申込：4月25日（水）必着

■この音！ な・あ・に？

どなたでも。障がい児者と保護者、なかなかコンサートに参加できない方へ音と心と体で日常とは違う空間を楽しみましょう。

5月13日（日）午後1時30分～3時。700円。抽選で120名。4月25日必着

■朗読&トーク ～大人の恋を物語る～

朗読の深みを感じてみませんか？ 全6回コース。大人の恋の作品です。

□開催日時：5月25日・7月20日・9月21日・11月23日・1月25日・3月22日（各金）14:00～16:00 □会場：4F第2集会室（5/25のみ第4集会室） □対象：中学生以上 □参加費：1800円（全6回分） □定員：抽選で30名 □申込：5月9日（水）必着

■わかりやすく役に立つ色彩学

着ると太って見える色、部屋が広く見える色などを、明度、彩度、色相を理解して学びます。高校入試にも役立ちます。保育有（事前申込制）

□開催日時：6月3日、6月17日（各日）14:00～16:00 □会場：4F第3集会室 □対象：中学生以上 □参加費：1000円（全2回分） □定員：抽選で36名 □申込：5月21日（月）必着

■はすの実作業所絵画展

障害のある人たちが長年にわたり描いた絵、約1000点の中から選んだ作品を展示します。

□開催日時：6月5日（火）～6月9日（土） 10:00～16:00（6/5は13:00～16:00、6/9は10:00～13:00） □会場：1F展示コーナー

■身近な材料で作る「布わらじ」と「麻ひもバック」

身近な材料を利用して手軽に実用品を作って楽しむ、初心者でも大丈夫！ 覚えてエコにつなげよう。保育有（事前申込制）

□開催日時：6月7日、21日・7月5日、19日（各木）9:30～11:30 □会場：6/7・7/5第3集会室 6/21・7/19第2集会室 □対象：小学生以上 □参加費：2800円（全4回分） □定員：抽選で20名 □申込：5月21日（月）必着

■夏祭に向けて浴衣を着て盆踊りに参加しよう

盆踊りを間近に控えて、自分で浴衣が着られ盆踊りのレッスンも受けられる。

□開催日時：6月10日・24日・7月8日、7月15日（各日）13:00～16:00 □会場：

座り心地は いかがですか

そこにベンチがあるからつい座る、日ごろお世話になっている善意の脇役。大田区内で見かけるベンチ事情を、歩いて探ってみました。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」（300字以内）を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名（ペンネームでも結構）町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.43Web版
2012年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design : Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

3 F 和室 (7/15は5 F 多目的室) □対象：小学生以上 □参加費：2000円 (全4回分) □定員：抽選で30名 □申込：5月25日 (金) 必着

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

■乳幼児ママ期を愉しむシンプルな方法

子育てに追われる毎日を、より愉しみ充実感を得る為の秘訣を楽しく学べる講座です。保育有 (事前申込制)

□開催日時：6月12日 (火) 9:45~11:45 □会場：4 F 第2集会室 □対象：乳幼児期育児中の女性 □参加費：500円 □定員：抽選で20名 □申込：5月28日 (月)

■My うつわでおいしいごはん

美味しいごはんを素敵な器で食べると、もっと美味しくなる？ 手作りの器を作って皆で一緒に食卓を飾りましょう。

□開催日時：6月17日13:00~16:30・7月1日10:30~14:30 (各日) □会場：6/17は3 F 工芸室・7/1は3 F 調理室 □対象：小学生以上 (保護者同伴) □参加費：2500円 (全2回分) □定員：抽選で25名 □申込：6月1日 (金) 必着

■介護防止ストッキング体操で筋力アップ

ストッキングを使用して無理なく体を動かします。腰痛・肩こり・ヒザの痛みのある方、体を動かしてスッキリしましょう。

□開催日時：6月30日・7月7日 (各土) 14:00~16:00 □会場：1 F 第1スポーツスタジオ □対象：成人の方どなたでも □参加費：1000円 (全2回分) □定員：抽選で30名 □申込：6月15日 (金) 必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024大田区中央2-10-1 4階大田文化の森運営協議会

電話：03-3772-0770 / FAX：03-3772-0704

ホームページ：<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■往復はがきに「講座名」・氏名・年齢 (学年)・住所・電話番号を明記 (はがき1枚に1講座、原則1名/組まで)。

■保育対象は満6ヶ月以上の未就学児。希望者は企画申込時に上記に加え「保育希望」・対象児の氏名・月齢も明記。1人1回500円。

■特記のない場合は未就学児の同伴はご遠慮ください。

■事前販売のチケットは全自由席、原則大田文化の森1階総合受付で販売。

文化プレーヤー (ボランティア) 募集

大田文化の森運営協議会では日ごろ多彩な催しを行っていますが、その実施にあたって企画・立案、サポート、さらに講師・出演者としての登録や写真・ビデオ撮影など文化活動を支える良き仲間を募っています。この文化プレーヤー (ボランティア) のプレーヤーという言葉には「楽しむ、表現する、演じる」という意味が込められていますが、ご希望される方は文化の森4階運営協議会事務局までお問い合わせください。

■受付時間：月~金曜 9:00~18:00

■電話：03-3772-0770 FAX：03-3772-0704

■住所：〒143-0024 大田区中央2-10-1

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。その動機、目的は大田区の基本計画によると「区民の自主的な文化活動の拠点として、区民が集い、参加し、交流することを目的として旧大田区役所跡地に建設された施設」と書かれています。

大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、より利用しやすく、親しみのもてる施設を目指しています。

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m²)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、①任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、②区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、③「運営協議会の自主企画」の3種類があります。

施設管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

●企画の実施

- 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する
- 2.「公募による事業」に応募する
- 3.運営協議会が行う自主事業に参画する

●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする。

●貸館を利用する

[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)



ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。

営業時間 10:00~17:00

定休日 隔週月曜・全館休館日

巻頭特集

2012 文化の森フォーラム

~文化プレーヤー!
集まろう・楽しもう・実行しよう~

平成24年4月28日開催の2012文化の森フォーラムのご案内です。テーマは「集まろう・楽しもう・実行しよう!」でたくさんの仲間が集まります。是非ご参加ください。

大田文化の森運営協議会
運協だより

運営協議会新会長に濱田智委員が選任されました。濱田新会長より、ご挨拶です。

読み応えのあるコラムが自慢

百歳バンザイ!

年輪を重ねた今を語る

1912年は明治最終年でもあり、大正元年でもある。100歳を迎えた方にとってはまさに記念すべき長寿の年、お話を伺うところには年輪を重ねた素敵な言葉が生きていました。

在住外国人の
大田区大好き!

大田区在住の外国人に大田区のことを聞きました。今回はフィリピンの大学を卒業して、日本語学校に通うため来日して25年、エスカレズ・マリッサさんです。

遊び心で学ぶ、 その仕掛け人たち

一生懸命の中にも、遊び心で学ぶ。そんなゆとりを持って生きたい、とは誰でも思うことでしょう。その仕掛け人3人をご紹介します。

地域ネットワーク

大田区の様々な町会や行事を紹介するシリーズ。今回は「洗足流れ」と「大浦田祭」についてご紹介いたします。

街角 トピックス

大田区の中で行われるちょっとした小さなイベントをご紹介します。

大田区役所 大田文化の森運営...

日本, 〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

保存

[拡大地図を表示](#)



[Googleマップで大きな地図を見る](#)



404. That's an error.

The requested URL /maps/sv was not found on this server. That's all

[Googleマップで大きな地図を見る](#)

バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅（西口）より
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅（西口）
東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

- 大田文化の森運営協議会事務局
〒143-0024 大田区中央2-10-1
電話：03-3772-0770/FAX：03-3772-0704

座り心地は いかがですか

そこにベンチがあるからつい座る、日ごろお世話になっている善意の脇役。大田区内で見かけるベンチ事情を、歩いて探ってみました。

文化の森イベントスケジュール

イベント情報 文化の森にもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」（300字以内）を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名（ペンネームでも結構）町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.43Web版
2012年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design : Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

編集後記

◆「サクラサク」「サクラチル」一。春入学に際して試験の結果を知らせる家族への電報の泣き笑いは、もはや昔の話。いまでは携帯電話でこと足りる利便さですが、その春入学を廃止して“世界標準”である秋入学に全面移行する話が東京大学を中心に進みつつある。他の国立大も相次いで検討を始め、私立大も右へ倣えとなれば5年先には導入する可能性もあるので、今春中学に入学する生徒やご家族の方の中には切実に考える時も近く来るでしょう。「半年間どうすればいいの」とか、企業や社会も巻き込んで賛同と困惑の嵐？が吹き荒れるはず。小・中・高は桜、大学は紅葉のシーズンへの入学移行、季節感もややこしくなる？

◆ビジネス手帳などで見かける「年齢早見表」。2012年度版を手にしてふと気付くと、ほとんどが100歳までの表記で、明治45＝大正元年（1912）が上限となっている。明治の印字も来年は見られずに、まさに“明治は遠くなりにつれ”の思いがわいて取り上げた、2頁の百歳バンザイ！。取材を通して、能の世阿弥の名言「老いの入舞いをし損ずべからず」という、老境の引き際について論じた言葉がよぎったのはこちらも老いを感じるトシになったということでしょうか。

◆街のあちこちで見かけるベンチ。安らぎや憩いの居場所として設置され区民の皆さんからも親しまれていますが、存在感をつい忘れて座ったりしていませんか。ふだんの感謝の気持ちを込めて綴る、7頁の「ベンチ・考」。設置するのに法的規制もあるそうですが、それはともかく善意の協役たちの姿を見直していただければ、幸甚です。

運営委員（編集長） 池田 敏夫

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

巻頭特集

2012 文化の森フォーラム
～文化プレーヤー！
集まろう・楽しもう・実行しよう～

平成24年4月28日開催の2012文化の森フォーラムのご案内です。テーマは「集まろう。楽しもう・実行しよう！」でたくさんの仲間が集まります。是非ご参加ください。

大田文化の森運営協議会
運協だより 

運営協議会新会長に濱田智委員が選任されました。濱田新会長より、ご挨拶です。

読み応えのあるコラムが自慢

百歳バンザイ!

年輪を重ねた今を語る

1912年は明治最終年でもあり、大正元年でもある。100歳を迎えた方にとってはまさに記念すべき長寿の年、お話を伺うとそこには年輪を重ねた素敵な言葉が生きていました。

在住外国人の
大田区大好き!

大田区在住の外国人に大田区のことを聞きました。今回はフィリピンの大学を卒業して、日本語学校に通うため来日して25年、エスカレズ・マリッサさんです。

遊び心で学ぶ、 その仕掛け人たち

一生懸命の中にも、遊び心で学ぶ。そんなゆとりを持って生きたい、とは誰でも思うことでしょうか。その仕掛け人3人をご紹介します。

地域ネットワーク

大田区の様々な町会や行事を紹介するシリーズ。今回は「洗足流れ」と「大蒲田祭」についてご紹介いたします。

街角 トピックス

大田区の中で行われるちょっとした小さなイベントをご紹介します。

ベンチ・考 座り心地は いかがですか

そこにベンチがあるからつい座る、日ごろお世話になっている善意の脇役。大田区内で見かけるベンチ事情を、歩いて探ってみました。

文化の森イベントスケジュール



今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。暮らしの中の「ちょっといい話」（300字以内）を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、info@ota-bunkanomori.jpまで。

誌面でのご紹介は姓名（ペンネームでも結構）町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話：03-3772-0770
FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.43Web版
2012年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 池田敏夫
Design：Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:info@ota-bunkanomori.jp
大田文化の森運営協議会Webサイト
<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

